

機械器具(21)内臓機能検査用器具  
一般医療機器 呼吸センサ 70072000

## フローセンサ TF-910P

### 再使用禁止

#### 禁忌・禁止

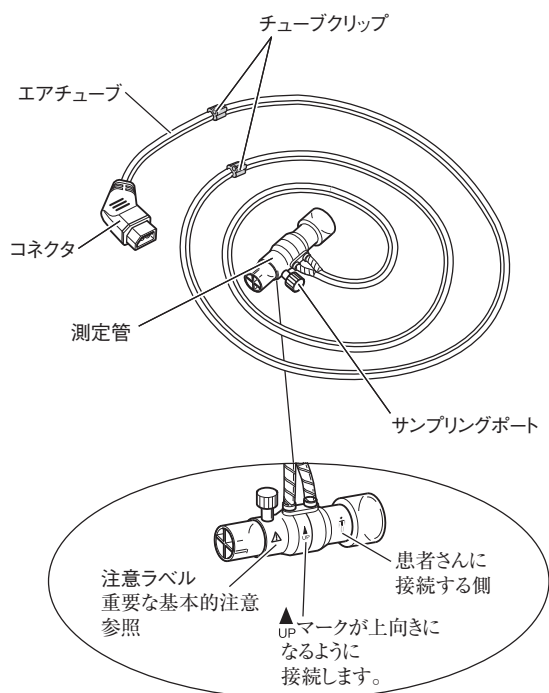
##### 使用方法

- ・フローセンサは一人の患者にのみ使用する使い捨てのセンサです。他の患者への再使用はしないでください。[交差感染を引き起こすことがあります。]
- ・感染症の可能性のある患者に使用する場合は、一回限りの使用とし、再使用はしないでください。

#### 形状・構造および原理等

本品は、挿管している患者の呼吸回路に介在させて、呼吸状態を測定するセンサです。

#### 形状\*\*

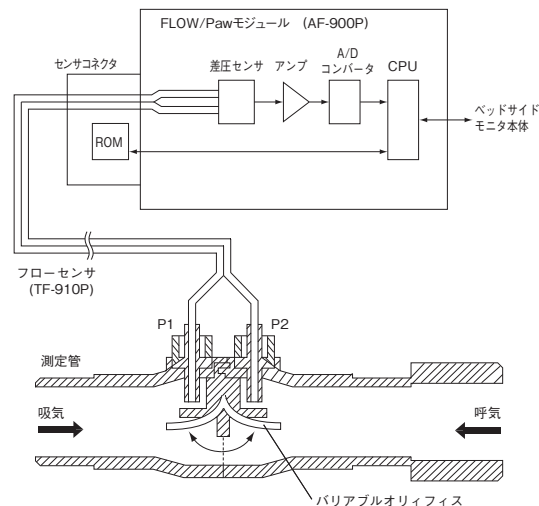


|           |                                         |
|-----------|-----------------------------------------|
| チューブ長     | 3m                                      |
| 接続部 患者側   | 15mm円錐接合 メス(15F)および<br>22mm円錐接合 オス(22M) |
| 機器側       | 15mm円錐接合 オス(15M)                        |
| サンプリングポート | ルアーテーパメス                                |
| 質量        | 82g**                                   |
| 測定管容積     | 13.0mL**                                |

#### 組成\*

|        |            |
|--------|------------|
| 測定管    | : ABS      |
| エアチューブ | : PVC      |
| コネクタ   | : PVC, PBT |

#### 原理



- ・フロー（吸気/呼気）に応じてバリアブルオリフィスが動き流路が変化した結果、フローにほぼ比例した差圧(P1-P2)が発生します。
- ・この差圧をFLOW/Pawモジュールの差圧センサで測定し、電気信号に変換します。
- ・フローセンサのセンサコネクタには、補正用に感度情報等を有するROMを内蔵しています。

#### 使用目的、効能または効果

##### 使用目的

鼻および口のフローや圧力などを検出するために用いるセンサです。通常、睡眠障害(不眠症、いびき、睡眠時無呼吸など)の評価に用います。

##### 測定項目

- ・気道内圧
- ・フロー（呼吸流量）

#### 品目仕様等\*\*

- 1) 抵抗  
3.0cmH<sub>2</sub>O/1.5L/s以下
- 2) リーク  
1.0cmH<sub>2</sub>O/min以下
- 3) 引張強度\*\*
  - ・コネクタ-エアチューブ間 50N
  - ・測定管-エアチューブ間 20N

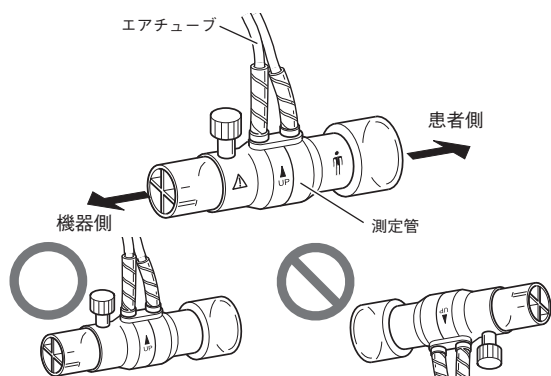
## 操作方法または使用方法等 \*\*

FLOW/Pawモジュール(AF-900P)、FLOW/Pawモジュールを接続する下記の機器の付属文書も併せて参照してください。

- ・製造販売業者名 : 日本光電工業株式会社  
販売名 : ベッドサイドステーション BSS-9800  
ライフスコープ S  
承認番号 : 20900BZZ00517000
- ・製造販売業者名 : 日本光電工業株式会社  
販売名 : ベッドサイドモニタ BSM-9100シリーズ  
ライフスコープ J  
承認番号 : 21600BZZ00519000

### 接続する

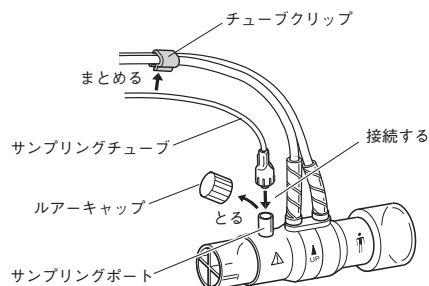
1. FLOW/Pawモジュールに接続する  
本センサを、FLOW/Pawモジュールのコネクタに、形状を合わせて接続します。
2. 呼吸回路に測定管を接続する  
エアチューブが上側になるようにして、測定管を人工呼吸器などの呼吸回路に接続します。  
測定管の  マーク側が患者側になるように接続します。



- [注]・エアチューブが下向きになるように接続すると、エアチューブに水滴や分泌物が混入しやすくなり、正しく測定できません。
- ・加湿器を使用中に蛇腹管、Yピース、測定管に水がたまった場合は、除去してください。

3. サンプルングチューブを接続する

CO<sub>2</sub>モジュールを併用してサイドストリーム方式のCO<sub>2</sub>を測定する場合などは、サンプルングポートのルーアキャップをはずして、サンプルングチューブを接続します。



- [注] サンプルングチューブを接続する場合以外は、フローセンサのサンプルングポートはルーアキャップを取り付けた状態にしてください。測定誤差を生じる原因となります。

4. 人工肺を使用してフローセンサの動作確認をする

[注] 人工肺とフローセンサの間にアダプタ(5cm以上の長さのもの)を挿入してください。直接、人工肺とフローセンサを接続した場合、フローセンサの測定精度は保証できなくなります。

詳細は、FLOW/Pawモジュールの取扱説明書「接続する」を参照してください。

## 使用上の注意

### 重要な基本的注意

- ・当社製のFLOW/Pawモジュール以外には接続しないでください。
- ・測定管の呼吸回路への接続は確実に行ってください。確実に接続されていないと、接続部からの空気漏れで患者への送気量が減少します。
- ・FLOW/Pawモジュールを接続する機器のアラーム機能を使用して、患者の換気量を継続的に監視してください。\*

- ・FLOW/Pawモジュールを接続している機器に「センサ寿命」とメッセージが表示されたら、新しいものと交換してください。そのまま続けてフローセンサを使用している場合は、フロー値の測定精度は保証できません。\*

## 貯蔵・保管方法および使用期間等

### 使用環境条件

|      |                |
|------|----------------|
| 温度範囲 | 10～40℃         |
| 湿度範囲 | 30～90%(結露なきこと) |
| 気圧範囲 | 70～106kPa      |

### 保存環境条件

|      |           |
|------|-----------|
| 温度範囲 | -20～65℃   |
| 湿度範囲 | 10～90%    |
| 気圧範囲 | 70～106kPa |

### 使用期間\*\*

本センサは、以下の条件で約90回使用できます。

- ・TV : 500mL
- ・RR : 15回/分
- ・1回の連続使用時間 : 8時間

## 保守・点検に係る事項 \*\*

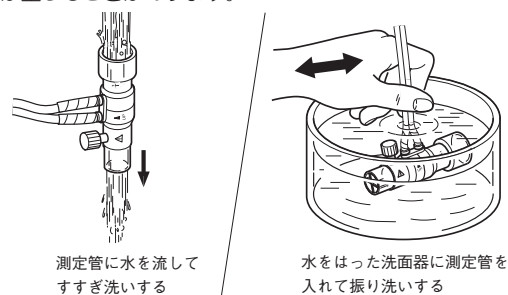
### 清掃・消毒・滅菌

フローセンサは滅菌・消毒されていません。  
清掃、消毒は以下のように行ってください。

#### 測定管の清掃(水洗い)

下図のように、測定管だけを水道水等で軽くすすぎ洗います。

[注] エアチューブ内に水が残らないようにしてください。測定誤差が生じる場合があります。



#### 測定管の消毒

測定管だけを以下の消毒剤に浸して消毒します。

浸漬時間は2時間未満にしてください。

グルタールアルデヒド(ステリハイド<sup>®</sup>、サイデックス<sup>®</sup>等).....0.2%  
塩酸アルキルジアミノエチルグリシン(テゴ-51<sup>®</sup>等).....0.5%  
塩化ベンザルコニウム(オスパン<sup>®</sup>液等).....0.2%  
塩化ベンゼトニウム(ハイアミン<sup>®</sup>等).....0.2%  
グルコン酸クロルヘキシジン(ヒピテン<sup>®</sup>等).....0.5%

[注]・特に以下の消毒剤は使用しないでください。

- エタノール(99.5%)、次亜塩素酸ナトリウム(ハイター<sup>®</sup>等)、クレゾール、ホルムアルデヒド
- ・エアチューブ内に消毒剤が残らないようにしてください。測定誤差が生じる場合があります。

<sup>®</sup>: 各社の登録商標です。

### 廃棄

使用済みのフローセンサは、(感染性)医療廃棄物として、専門の業者に依頼して廃棄処理してください。

## 包装

1本単位で梱包

製造販売 **日本光電** 日本光電工業株式会社  
東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560  
☎(03)5996-8000(代表) Fax (03)5996-8091

製造業者 **日本ビニールコード株式会社**